

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	「本邦での COVID-19 感染患者治療の疫学調査」
研究責任者	日本赤十字社医療センター 救急科 林 宗博
研究機関名	日本赤十字社医療センター 救命救急センター
研究目的と意義	<p>2019年12月、中華人民共和国・湖北省武漢市で発生した新型ウイルスによる肺炎の集団感染が報告されました。</p> <p>このウイルスは新型コロナウイルス(「COVID-19」)と称されています。</p> <p>COVID-19による感染は世界的に流行し、本邦でも2月のDiamond Princess号事案に始まり、3月からの第二波の襲来と4月7日発令の「緊急事態宣言」下において全国的にも感染者が増大しました。5月26日で宣言が解除され「新日常」と言われる段階となりました。その間の世界的な流行のなかで他国とは異なり、我が国の感染者および死亡者数は抑止できたと評価されていますが、累計すれば16,884人の感染者と892人の死亡者(6月1日現在)を経験しました。この新型ウイルス感染症にはまだ確立した治療法がなく、現在行われている治療はこれまでの他のウイルス疾患や肺炎などの治療経験に基づくもので乗り越えてきました。今後の再流行・再燃に備え、今までのこの感染症に関する疫学的検討や治療方法に関するデータの集積・解析が今後のCOVID-19感染症治療には急務であると考えています。本研究は本邦におけるCOVID-19感染症の臨床データや治療内容を「後方視」的に解析し、病態解明・治療法開発の一助とすることを目的として多施設共同研究として全国の対施設でのデータ集積に協力して、本邦独自のデータとして国内外に貢献することを目的としています。</p>
研究方法	<p>◆研究期間:2020年2月1日 ~ 2026年3月31日</p> <p>◆研究方法:日本国内の多施設による後ろ向き研究です。よって患者さんに新たな負担を求める調査研究ではありません。</p> <p>◆当院に「COVID-19感染症」と診断され入院治療を受けられた患者さんを対象として調査します。</p> <p>◆研究項目:診療録から患者さんの年齢・性別・身長体重、病歴、重症度等の病状にかかる情報やX線写真/CT検査等の画像診断資料、治療・管理内容(治療経過)、について匿名化をして管理します。その上で他機関に収集したデータを送付して集積・解析作業が行われます。</p> <p>研究期間中(2026年3月31日まで)は研究責任者の下で厳重に保管され、研究終了後に破棄あるいは消去されます。</p> <p>今回の研究で得られた結果については医学的な専門学会や医学雑誌等で公表されることがあります。</p> <p>本研究に組み入れられることをご希望されない方は 担当医や下記の問い合わせ先にお知らせください。その場合、データの収集や統計解析は行いません。ご希望されない場合でも患者さんに不利益になることはありません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 救急科(救命救急センター)</p> <p>〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22</p> <p>担当者: 林 宗博</p> <p>TEL: 03-3400-1311 FAX: 03-3409-1604</p>